

## 定例会再開(17日) 議案質疑・一般質問

6月野洲市議会定例会は17日再開。議案質疑と一般質問が始まりました。共産党議議団は、コロナ対策では国交付金による感染対策、市が行うとしているふるさと創生事業、新病院建設問題などの質問をしました。

### 一般質問

### 東郷正明 市議



75歳以上高齢者の人間ドックに補助を

後期高齢者医療制度が導入されたことにより、75歳以上の高齢者の人間ドックの助成制度が廃止されました。隠れた疾病を早期発見するのは必要なことです。75歳以上高齢者を国民健康保険制度から外し、医療サービスを受けられなくなるのは差別です。人間ドックに助成制度を実施するよう求めました。

その他、子どもの健やかな成長と基礎学力を保障すること。また、コロナ対策からも小中学校の少人数学級実施を求めました。

一般質問では工藤市議が、①コロナ感染防止とワクチン接種、暮らし守る施策実施。②デジタル行政の功罪、③公共施設バリアフリー促進。野並市議が、①保育の質とサービス切り捨ての「家庭的保育」の問題、②新病院早期建設、などを質問しました。

### 議案質疑

### 工藤義明 市議



コロナ感染防止へ幼保園、小中学校の手洗い水洗自動化を

コロナ感染防止対策で民間保育所、市立幼保園・小中学校の手洗い水栓自動化の予算が計上されています。県下でも学校などでクラスターも発生しています。早期の実施が必要です。公立学校では夏休みまでに設置ができるよう求めました。

市は「民間保育所(7園)については、速やかに申請の案内をする」「公立学校は夏休みまでに実施する」と答弁しました。

### 議案質疑

### 野並享子市議

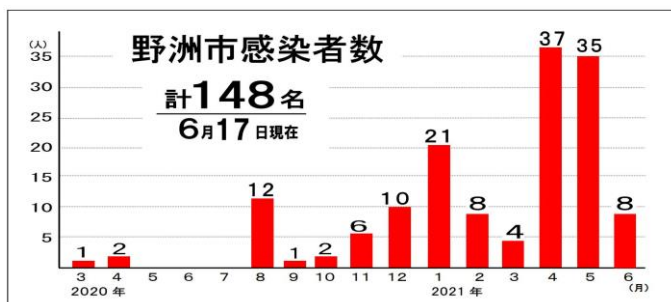


国のコロナ対策交付金は、いま困っている市民のために

国からのコロナ対策交付金は野洲市に1億6000万円交付されています。今回、市が感染防止対策や暮らし支援に計上したのは約1億3000万円で、約3000万円を「今後の対策に残しておく」としています。

野並市議は「市民の暮らしは深刻。交付金を残しておくのではなく、市民の施策に使うべき」「ワクチン接種でも、高齢者は会場に行くのも困難が。安心安全の接種へ送迎など、コロナ交付金を使うべき」と求めました。

## イオン会場 接種は7月1日から



高齢者(65歳以上)のコロナワクチンの早期接種へ、7月1日からイオン会場で行われます。5月25日から予約が再開されました。しかし、遅い人は8月から9月になり批判が出ていました。

これに対して、接種が8月以降になる人を対象に急遽イオン会場が設定されたものです。

イオン会場での接種場所は、対象者に「予約変更案内」に会場略図が同封されていますが、ダイソーとゲームコーナー・フードコートに隣接する角コーナーです。買い物客が集まる商業施設だけに、万全の安全・安心の接種体制を求めます。

やす民報

日本共産党野洲市委員会  
2021年6月20日 No.414

市政や市議会へのご意見  
ご要望をお寄せください

野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX) 587-0985  
東郷正明 比江864 (電話・FAX) 589-4158  
工藤義明 小篠原879 (電話・FAX) 588-1856

日本共産党野洲市委員会が見解を発表しましたのでお知らせします

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索